

# 「緊急！新型コロナウイルスによる影響調査」

## 結果報告書

調査期間 令和2年12月

小松商工会議所

中小企業相談所

「緊急!新型コロナウイルスによる影響調査」結果報告書

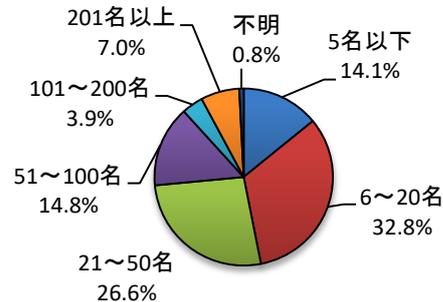
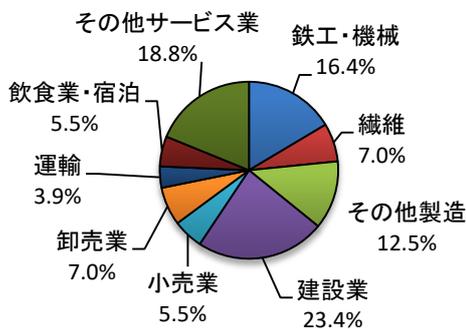
【調査の主旨】 新型コロナウイルスの感染拡大により、会員企業の事業活動に及ぼす影響について実態を把握し、調査結果を踏まえ今後の支援事業に活用することを主旨として調査を実施。

【調査期間】 令和2年12月14日(木)～12月21日(月)

【調査対象】 小松商工会議所 議員・評議員企業 221社

【回答企業数】 128企業(回答率 57.9%)

業種 / 従業員数		5名以下	6～20名	21～50名	51～100名	101～200名	201名以上	不明	合計
製造業	鉄工・機械		2	7	7	3	2		21
	繊維	2	3	2	2				9
	その他製造	2	4	2	3	1	4		16
建設業		3	16	9	1			1	30
小売業		1	2	1	3				7
卸売業		2	3	3		1			9
サービス業	運輸			2	2		1		5
	飲食業・宿泊	5		2					7
	その他サービス業	3	12	6	1		2		24
合計		18	42	34	19	5	9	1	128



【業種別】

【従業員数別】

## 新型コロナウイルスによる売上減少について

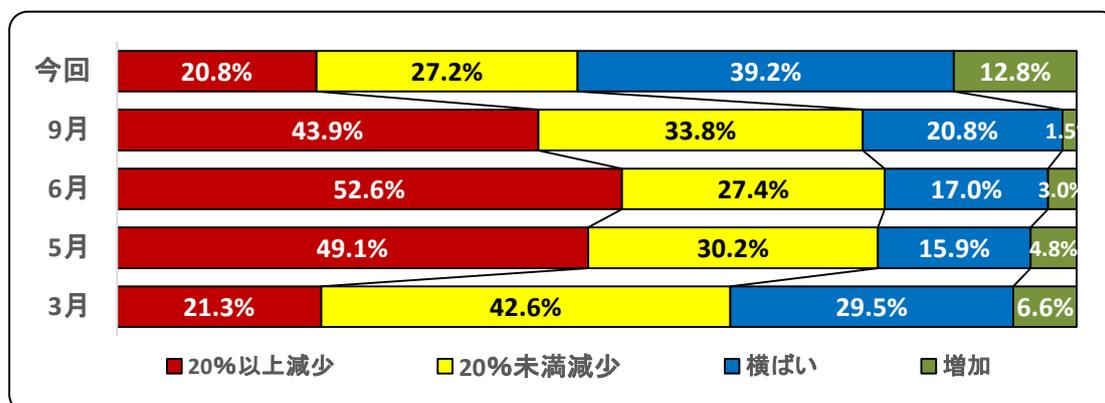
### 【設問 1】前年同月と比べた令和 2 年 11 月の売上高 (n=125)

「減少 20%以上」と回答した企業は、全体で 20.8% (9 月 43.9%、6 月 52.6%) となった。また、「減少 20%未満」も含めた企業では全体で 48.0% (9 月 77.7%、6 月 80.0%) と悪化幅が縮小し、増加も 12.8%と、前回より 11.3 ポイント改善した。

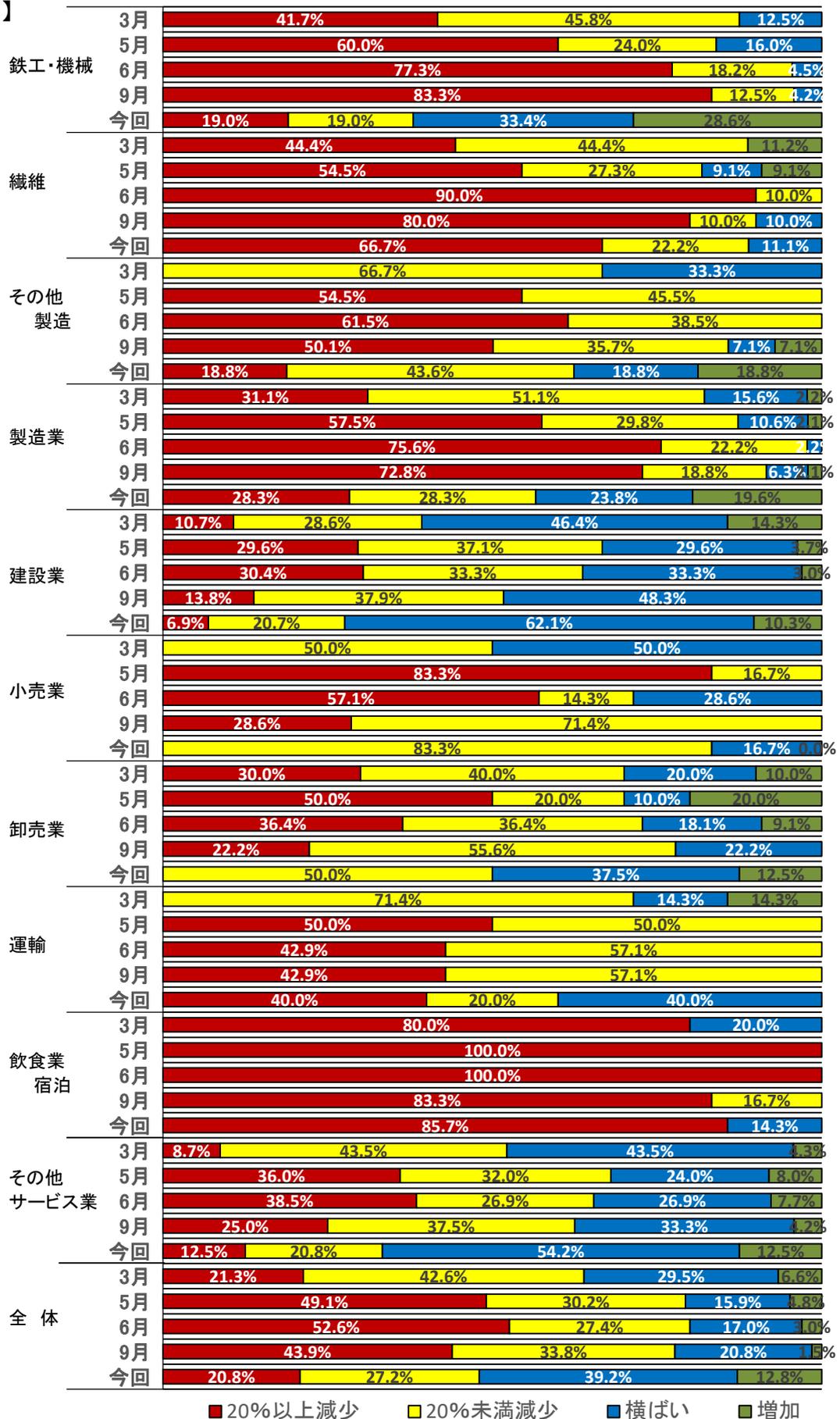
業種別では、「減少 (20%未満含む)」と回答した業種は、高い順から挙げると、繊維 88.9% (9 月 90.0%、6 月 100%)、飲食業・宿泊 85.7% (9 月 100%、6 月 100%)、小売業 83.3% (9 月 100%、6 月 71.4%) となった。逆に「増加」と回答した業種は、鉄工・機械 28.6% (9 月 0%、6 月 0%)、その他製造 18.8% (9 月 7.1%、6 月 0%)、卸売業 12.5% (9 月 0%、6 月 9.1%)、その他サービス業 12.5% (9 月 4.2%、6 月 7.7%) となった。

従業員数別においては、5 名以下の企業が、「減少 (20%以上)」33.3%と高く、「増加」も、5.6%と低かった。

業 種	減少	減少	横ばい	増加
	20%以上	20%未満		
鉄工・機械	19.0%	19.0%	33.4%	28.6%
繊維	66.7%	22.2%	11.1%	0.0%
その他製造	18.8%	43.6%	18.8%	18.8%
製造業	28.3%	28.3%	23.8%	19.6%
建設業	6.9%	20.7%	62.1%	10.3%
小売業	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%
卸売業	0.0%	50.0%	37.5%	12.5%
運輸	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%
飲食業・宿泊	85.7%	0.0%	14.3%	0.0%
その他サービス業	12.5%	20.8%	54.2%	12.5%
今回(12/14~12/21)	20.8%	27.2%	39.2%	12.8%
9月 (9/16~9/29)	43.9%	33.8%	20.8%	1.5%
6月 (6/15~6/22)	52.6%	27.4%	17.0%	3.0%
5月 (5/8~5/15)	49.1%	30.2%	15.9%	4.8%
3月 (3/17~3/27)	21.3%	42.6%	29.5%	6.6%



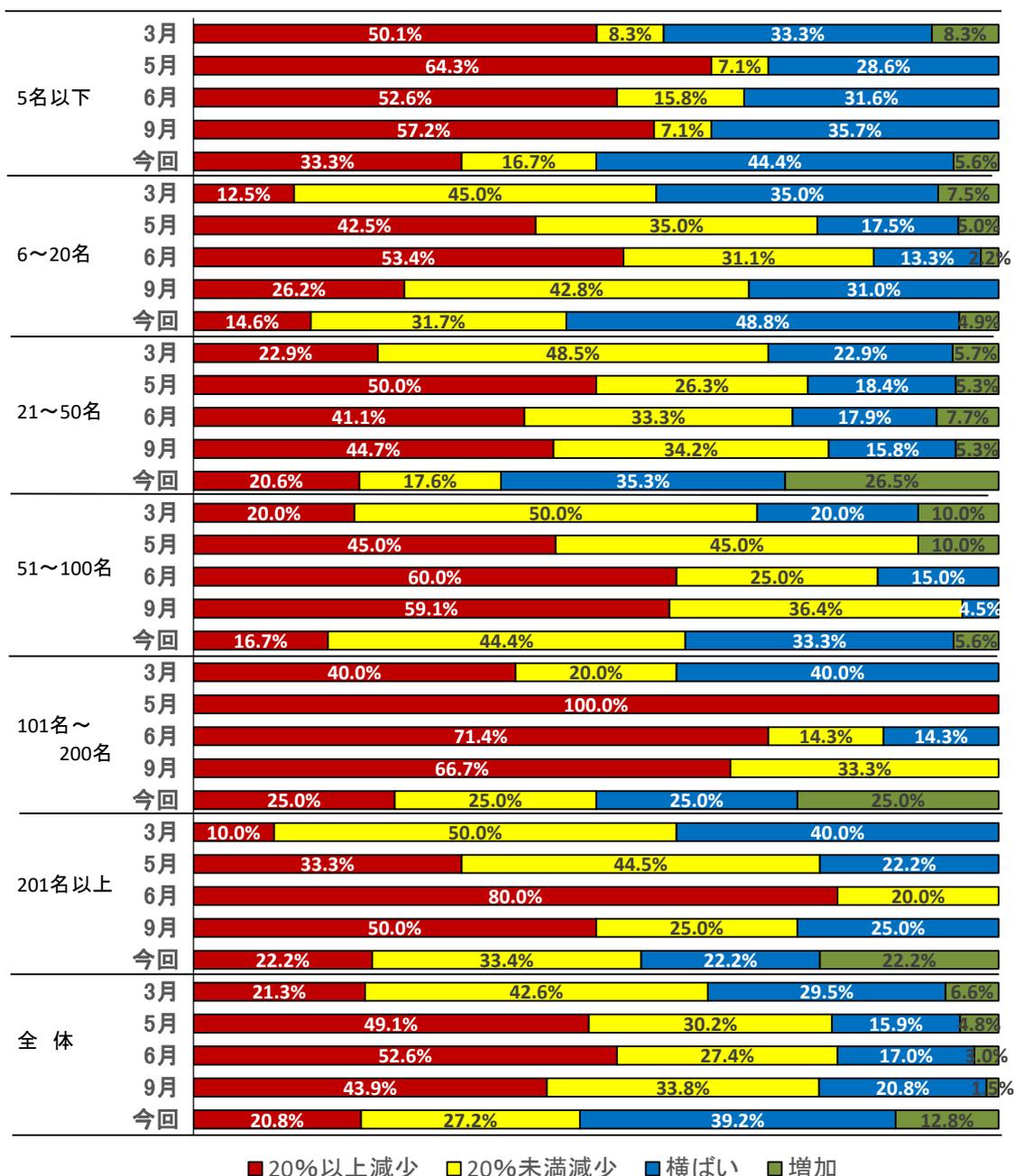
【業種別】



■ 20%以上減少    ■ 20%未満減少    ■ 横ばい    ■ 増加

従業員数	減少 20%以上	減少 20%未満	横ばい	増加
5名以下	33.3%	16.7%	44.4%	5.6%
6～20名	14.6%	31.7%	48.8%	4.9%
21～50名	20.6%	17.6%	35.3%	26.5%
51～100名	16.7%	44.4%	33.3%	5.6%
101～200名	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
201名以上	22.2%	33.4%	22.2%	22.2%
全体	20.8%	27.2%	39.2%	12.8%

【従業員数別】



**【設問 2】前年同月と比べた令和 2 年 10 月～12 月売上高(見込み) (n=128)**

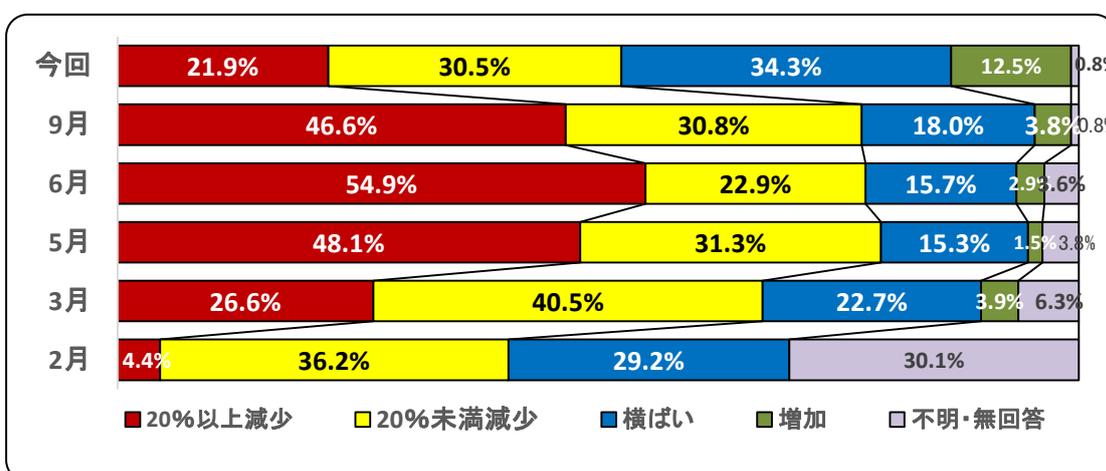
「減少(20%未満含む)」企業は全体で 52.4% (9 月 77.4% 6 月 77.8%)、「増加した」企業が 12.5%(9 月 3.8%、6 月 2.9%)と、わずかながら上昇した。相変わらず厳しい状況ではあるが、鉄工・機械の回復が、改善へのけん引となっているようだ。

業種別においては、「減少(20%未満も含む)」と回答した企業は、飲食業・宿泊 100% (9 月 100%、6 月 100%)、繊維 100%(9 月 100%、6 月 100%)、運輸 80.0%(9 月 100%、6 月 100%)、小売業 71.4%(9 月 100%、6 月 71.4%)、続いて卸売業が 66.7% (9 月 77.8%、6 月 81.8%) となった。

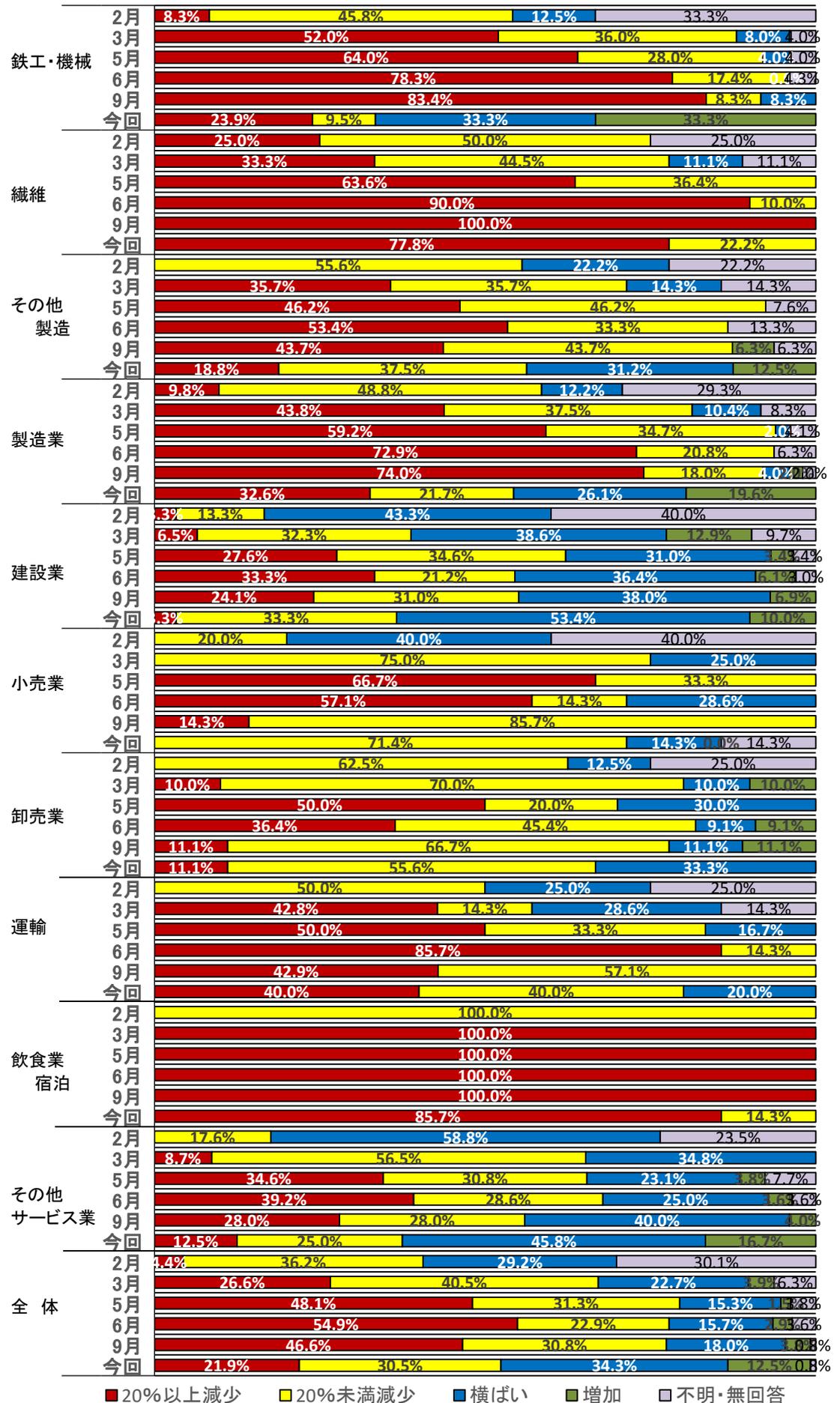
従業員数別においては、「減少(20%未満含む)」と回答した企業は、51～100 名が 88.2% (9 月 95.7%、6 月 90.0%)、5 名以下が 72.2%(9 月 71.4%、6 月 75.0%)、6～20 名が 69.6% (9 月 68.1%、6 月 78.7%) と続く。

アンケート回答期間中に、Go To トラベルの全国一時停止が発表されるなど、コロナ禍の悪影響はまだまだ続く見通しである。

業種	減少 20%以上	減少 20%以下	横ばい	増加	無回答 不明
鉄工・機械	23.9%	9.5%	33.3%	33.3%	0.0%
繊維	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
その他製造	18.8%	37.5%	31.2%	12.5%	0.0%
製造業	32.6%	21.7%	26.1%	19.6%	0.0%
建設業	3.3%	33.3%	53.4%	10.0%	0.0%
小売業	0.0%	71.4%	14.3%	0.0%	14.3%
卸売業	11.1%	55.6%	33.3%	0.0%	0.0%
運輸	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%
飲食業・宿泊	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
その他サービス業	12.5%	25.0%	45.8%	16.7%	0.0%
全体(12月)	21.9%	30.5%	34.3%	12.5%	0.8%
9月	46.6%	30.8%	18.0%	3.8%	0.8%
6月	54.9%	22.9%	15.7%	2.9%	3.6%
5月	48.1%	31.3%	15.3%	1.5%	3.8%
3月	26.6%	40.5%	22.7%	3.9%	6.3%
2月	4.4%	36.2%	29.2%	30.1%	4.4%

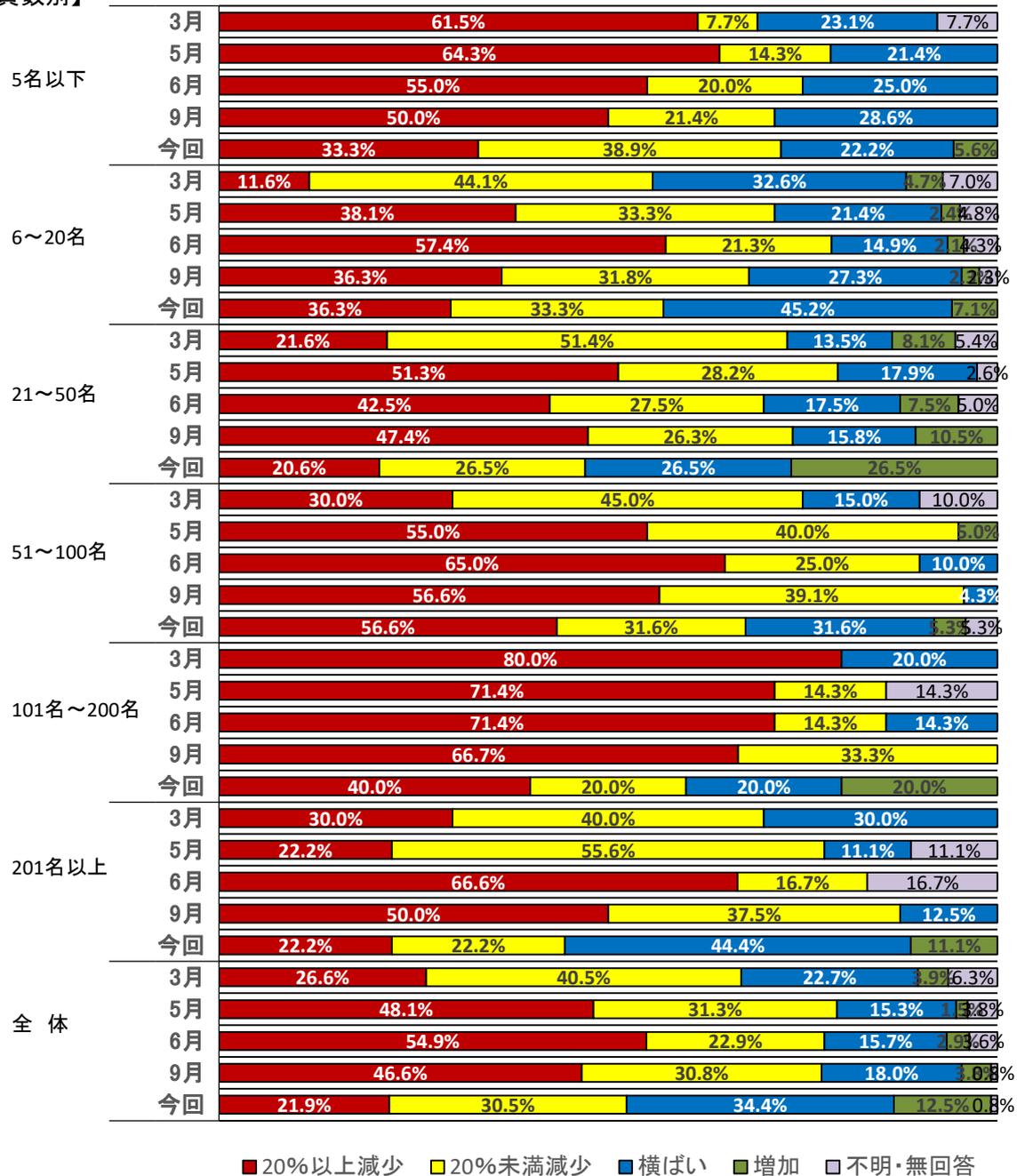


【業種別】



従業員数	減少 20%以上	減少 20%以下	横ばい	増加	無回答 不明
5名以下	33.3%	38.9%	22.2%	5.6%	0.0%
6～20名	36.3%	33.3%	45.2%	7.1%	0.0%
21～50名	20.6%	26.5%	26.5%	26.5%	0.0%
51～100名	56.6%	31.6%	31.6%	5.3%	5.3%
101～200名	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%
201名以上	22.2%	22.2%	44.4%	11.1%	0.0%
全体	21.9%	30.5%	34.4%	12.5%	0.8%

【従業員数別】



### 【設問3】令和2年1月29日以降、令和3年3月までに見込まれる減少額とその内容 (n=112)

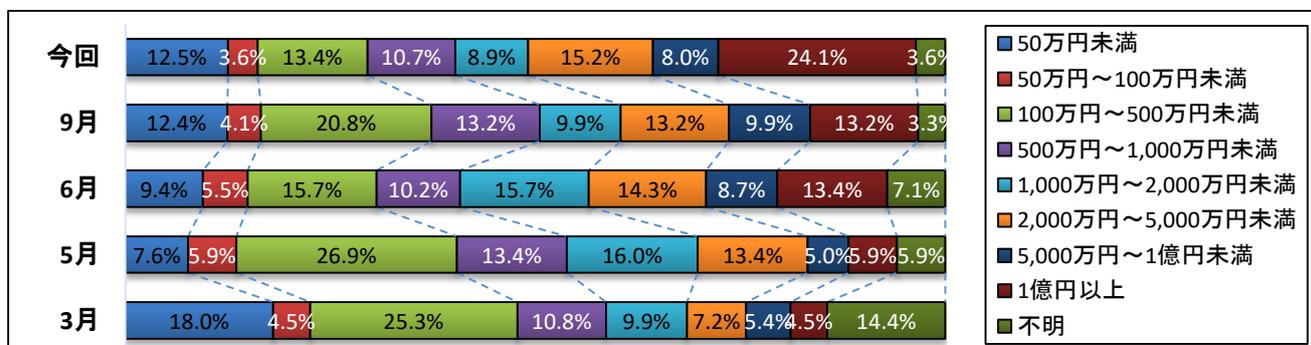
「1,000万円以上」と回答した企業は、56.2% (9月46.2%、6月52.1%)、特に1億円以上と回答した企業が24.1% (9月13.2%、6月13.4%)もあった。3月までに見込まれる減少額は、益々膨らむ危機感を持っている企業が多いようだ。

業種別においては、「1,000万円以上」と回答した企業は、運輸100% (9月83.3%、6月85.7%)、繊維88.8% (9月80.0%、6月60.0%)、鉄工・機械85.0% (9月66.7%、6月72.8%)の順に高い割合を示した。

従業員数別においては、「1,000万円以上」と回答した企業は、101～200名が100% (9月100%、6月83.3%)と高く、次に、51～100名が83.3% (9月65.2%、6月73.6%)、21～50名が78.6% (9月60.6%、6月60.7%)と続く。

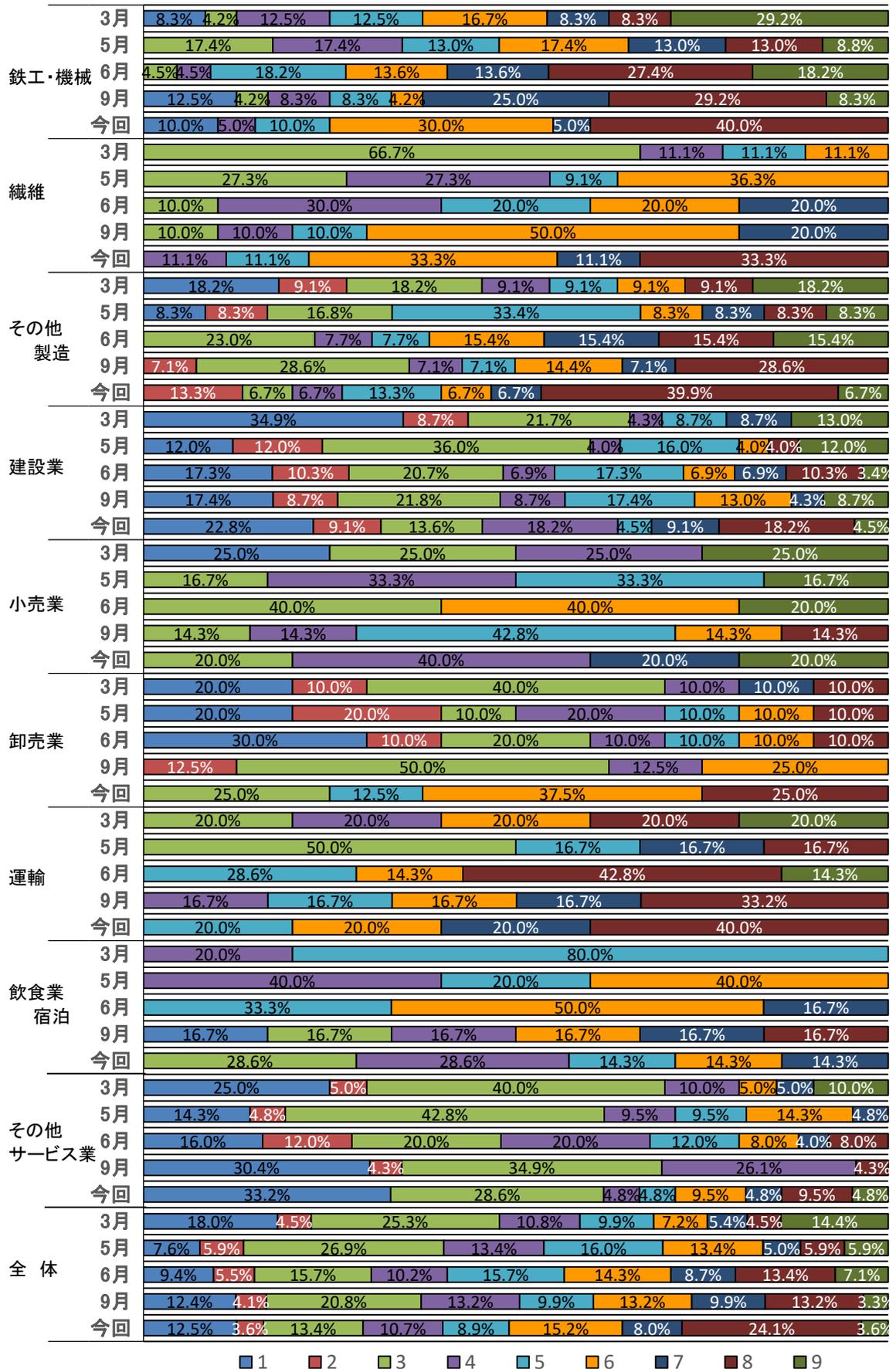
		12月 (3月まで見込み)		9月 (12月まで)	6月 (9月まで)	5月 (6月まで)	3月 (6月まで)
1	50万円未満	14社	12.5%	12.4%	9.4%	7.6%	18.0%
2	50万円～100万円未満	4社	3.6%	4.1%	5.5%	5.9%	4.5%
3	100万円～500万円未満	15社	13.4%	20.8%	15.7%	26.9%	25.3%
4	500万円～1,000万円未満	12社	10.7%	13.2%	10.2%	13.4%	10.8%
5	1,000万円～2,000万円未満	10社	8.9%	9.9%	15.7%	16.0%	9.9%
6	2,000万円～5,000万円未満	17社	15.2%	13.2%	14.3%	13.4%	7.2%
7	5,000万円～1億円未満	9社	8.0%	9.9%	8.7%	5.0%	5.4%
8	1億円以上	27社	24.1%	13.2%	13.4%	5.9%	4.5%
9	不明	4社	3.6%	3.3%	7.1%	5.9%	14.4%

※不明・無回答の件数は不明・算定中と記載もしくは、売上高(見込み)減少と回答した無回答件数



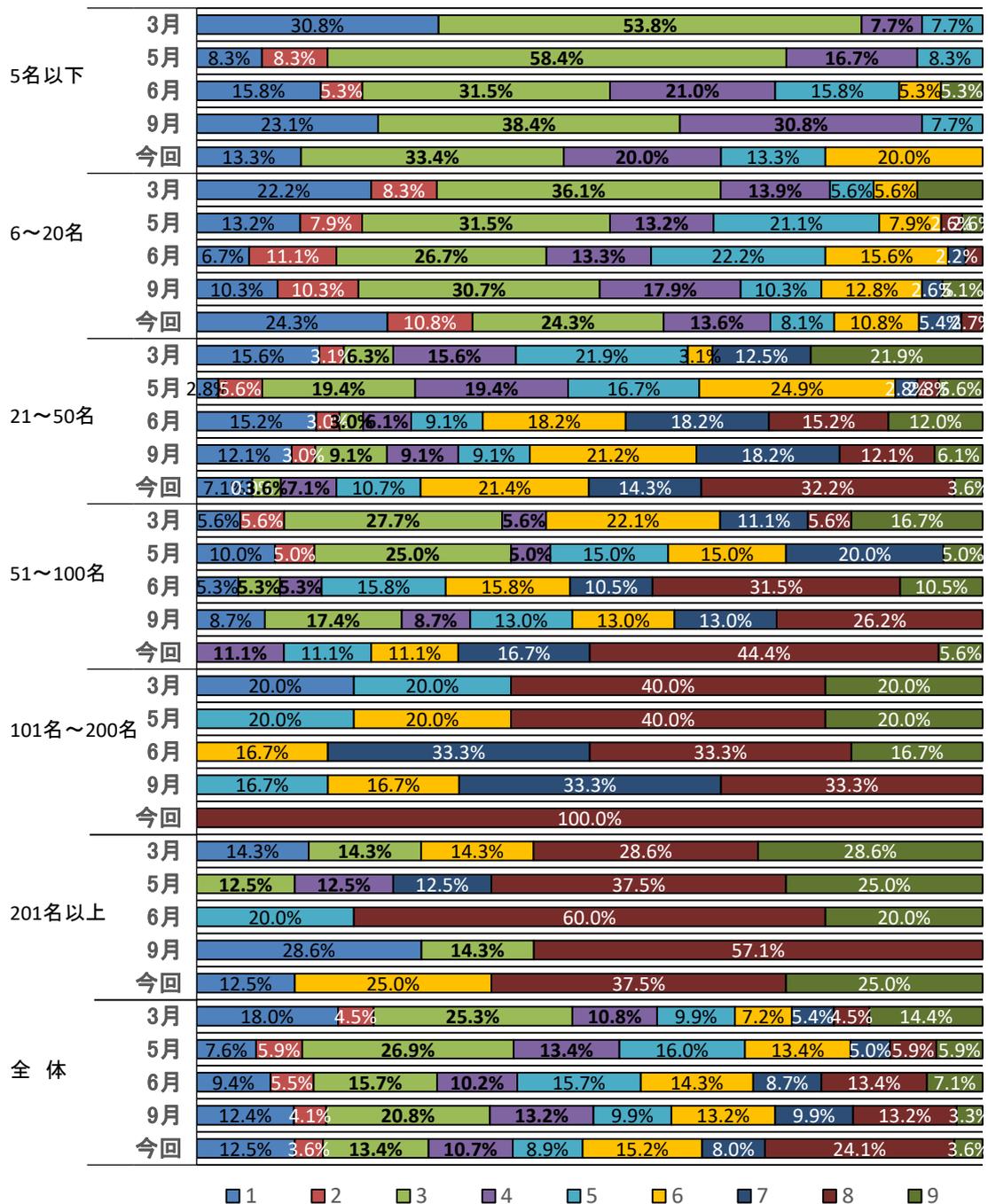
業種	1	2	3	4	5	6	7	8	9
鉄工・機械	10.0%			5.0%	10.0%	30.0%	5.0%	40.0%	
繊維				11.1%	11.1%	33.3%	11.1%	33.3%	
その他製造		13.3%	6.7%	6.7%	13.3%	6.7%	6.7%	39.9%	6.7%
建設業	22.8%	9.1%	13.6%	18.2%	4.5%		9.1%	18.2%	4.5%
小売業			20.0%	40.0%			20.0%		20.0%
卸売業			25.0%		12.5%	37.5%		25.0%	
運輸					20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	
飲食業・宿泊			28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%		
その他サービス業	33.2%		28.6%	4.8%	4.8%	9.5%	4.8%	9.5%	4.8%
全体	12.5%	3.6%	13.4%	10.7%	8.9%	15.2%	8.0%	24.1%	3.6%

【業種別】



従業員数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5名以下	13.3%		33.4%	20.0%	13.3%	20.0%			
6～20名	24.3%	10.8%	24.3%	13.6%	8.1%	10.8%	5.4%	2.7%	
21～50名	7.1%		3.6%	7.1%	10.7%	21.4%	14.3%	32.2%	3.6%
51～100名				11.1%	11.1%	11.1%	16.7%	44.4%	5.6%
101～200名								100.0%	
201名以上	12.5%					25.0%		37.5%	25.0%
全体	12.5%	3.6%	13.4%	10.7%	8.9%	15.2%	8.0%	24.1%	3.6%

【従業員数別】



## Q具体的内容について

得意先からの受注量減（鉄工・機械）
観光バス部品の生産量激減（鉄工・機械）
観光バスの売上 80%減（鉄工・機械）
社会情勢が安定しない(経済活動が活性化しない)場合は、単純に落ち込んでしまう (鉄工・機械)
建機の減少が影響している（鉄工・機械）
4月～9月まで売上大幅減（機械・鉄工）
新型コロナ禍の中での売上減（鉄工・機械）
衣料用高級品市場が無くなってしまった（繊維）
昨対比で2割減の売上で推移している（繊維）
コロナの影響で、高級品と海外向けの売上が大幅に減少（繊維）
コロナによる売上減少、加工工場廃業のため、加工継続が困難な織物も発生（繊維）
需要が10%減少、コロナの影響は若干（その他製造）
観光需要減（その他製造業）
個人客が減少し、同業他社からの見積が減った（その他製造・建設業）
減少しない見込みの方が高い（建設業）
減少する見込みではない（建設業）
民間建設工事売上高が減少している（建設業）
工事の見通しが少ない（建設業）
イベント関連の仕事減（建設業）
仕事量が少ない（建設業）
若干減少となる見込み（建設業）
前年、22000万、今期10%程度減。飲食・イベント等、全く売上がたたないため（卸売業）
レストラン関係の落ち込み（卸売業）
売上単価の低下（卸売業）
取引先がなくなった（卸売業）
2割前後の落ち込みが続く。設備投資意欲が非常に弱い（卸売業）
酒類（卸売業）
バス製造関連の取引が減少しているため（運輸）
コロナ禍に伴う収入の減少（運輸）
コロナのため、売上が減少した（飲食業・宿泊）
来店客の減少、特に大型宴会の減少（飲食業・宿泊）
70～80%の落ち込みになりそう（飲食業・宿泊）
売上の見込みが立たない（その他サービス業）
コロナ（その他サービス業）
介護保険事業収益の減（その他サービス業）
国際線運休に伴う、免税店売上及び賃料収入の減少（その他サービス業）
工事高の減少（その他サービス業）

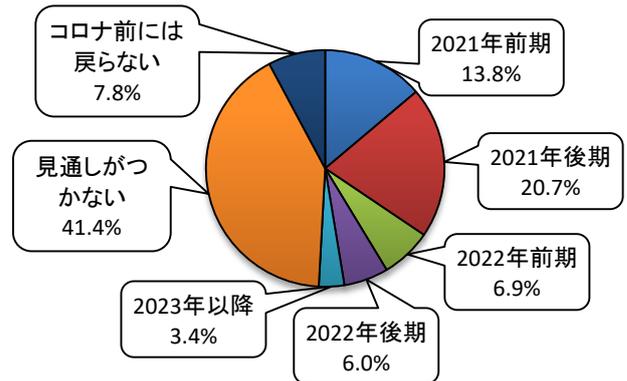
**【設問4】今後の経営の見通し(自社売上の回復)について (n=116)**

全体で、「見通しが見つからない」41.4%と最も高く、続いてコロナワクチンへの期待もあるのか、「2021年後期」20.7%と続く。

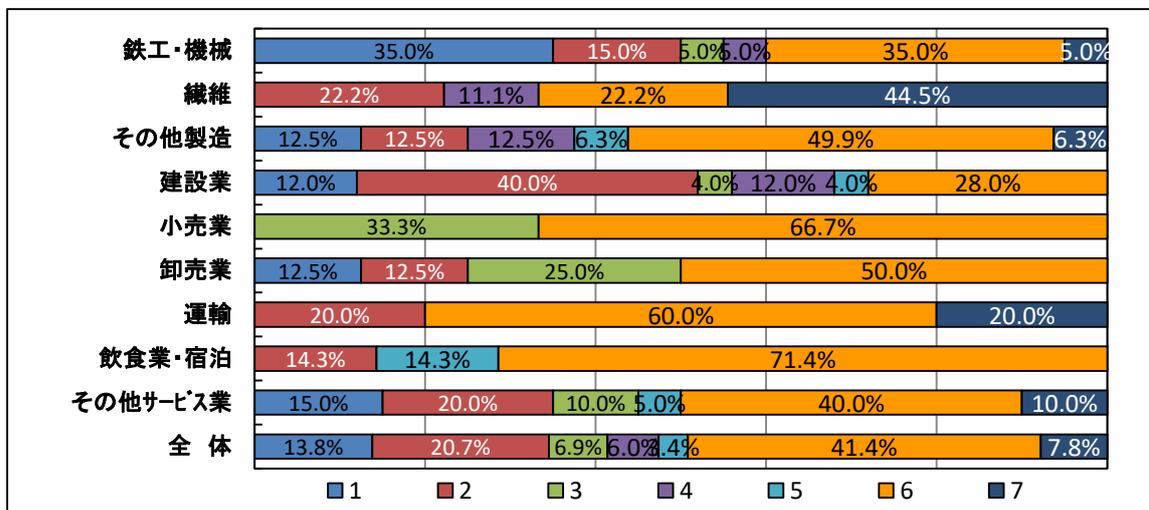
業種別において、鉄工・機械の「2021年前期」35.0%、建設業の「2021後期」40.0%と回復する見通しの割合が高いが、多くの企業は「見通しが見つからない」の割合が高く、繊維においては、「コロナ前には戻らない」44.5%と、厳しい回答の割合が高かった。

従業員数別において、「見通しが見つからない」「コロナ前には戻らない」合わせて、高い順から、5人以下が66.7%、201名以上66.7%、6～20名以下51.3%となった。

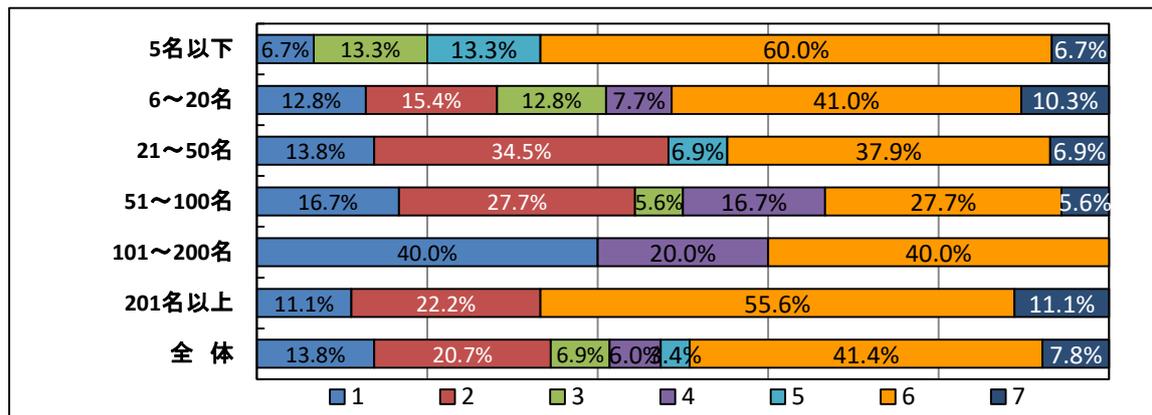
1	2021年前期	16社	13.8%
2	2021年後期	24社	20.7%
3	2022年前期	8社	6.9%
4	2022年後期	7社	6.0%
5	2023年以降	4社	3.4%
6	見通しが見つからない	48社	41.4%
7	コロナ前には戻らない	9社	7.8%



業種	1	2	3	4	5	6	7
鉄工・機械	35.0%	15.0%	5.0%	5.0%		35.0%	5.0%
繊維		22.2%		11.1%		22.2%	44.5%
その他製造	12.5%	12.5%		12.5%	6.3%	49.9%	6.3%
建設業	12.0%	40.0%	4.0%	12.0%	4.0%	28.0%	
小売業			33.3%			66.7%	
卸売業	12.5%	12.5%	25.0%			50.0%	
運輸		20.0%				60.0%	20.0%
飲食業・宿泊		14.3%			14.3%	71.4%	
その他サービス業	15.0%	20.0%	10.0%		5.0%	40.0%	10.0%
全体	13.8%	20.7%	6.9%	6.0%	3.4%	41.4%	7.8%



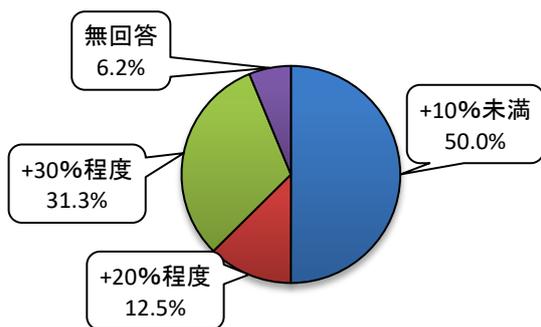
従業員数	1	2	3	4	5	6	7
5名以下	6.7%		13.3%		13.3%	60.0%	6.7%
6～20名	12.8%	15.4%	12.8%	7.7%		41.0%	10.3%
21～50名	13.8%	34.5%			6.9%	37.9%	6.9%
51～100名	16.7%	27.7%	5.6%	16.7%		27.7%	5.6%
101～200名	40.0%			20.0%		40.0%	
201名以上	11.1%	22.2%				55.6%	11.1%
全体	13.8%	20.7%	6.9%	6.0%	3.4%	41.4%	7.8%



【設問5】売上の増加幅について(設問2で「選択肢4.増加」を選択した方) (n=16)

業種	+10%未満		+20%程度		+30%程度		無回答		問2「増加」	
鉄工・機械	3社	42.9%			4社	57.1%			7社	33.3%
その他製造	2社	100.0%							2社	12.5%
建設業			1社	33.3%	1社	33.3%	1社	100.0%	3社	10.0%
その他サービス業	3社	75.0%	1社	25.0%					4社	16.7%
全体	8社	50.0%	2社	12.5%	5社	31.2%	1社	6.2%	16社	12.5%

従業員数	+10%未満		+20%程度		+30%程度		無回答		問2「増加」	
5名以下							1社	100.0%	1社	5.6%
6～20名	2社	66.7%	1社	33.3%					3社	7.1%
21～50名	5社	55.6%	1社	11.1%	3社	33.3%			9社	26.5%
51～100名					1社	100.0%			1社	5.3%
101～200名					1社	100.0%			1社	20.0%
201名以上	1社	100.0%							1社	11.1%
全体	8社	50.0%	2社	12.5%	5社	31.2%	1社	6.3%	16社	12.5%



【設問2】において、前年同月と比べた令和2年10月～12月の売上高（見込み）が、「増加」した企業（全体の12.5%（16社）を占める）の内訳は、+10%未満が、50.0%（8社）、+20%程度が、12.5%（2社）、+30%程度が31.2%（5社）であった。

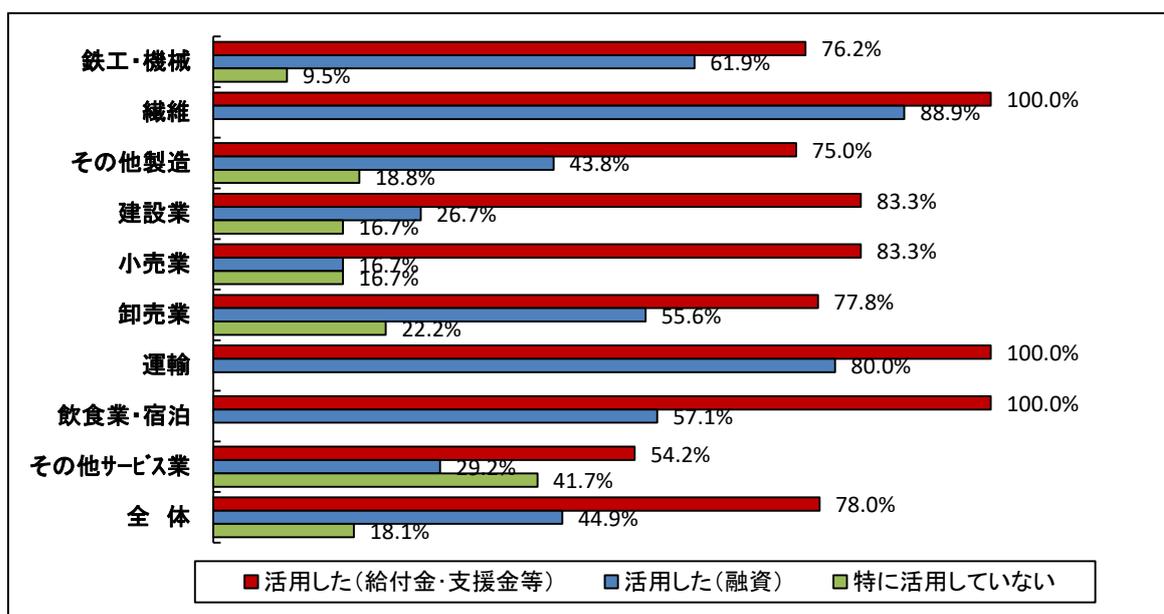
業種別では、鉄工・機械が、+10%未満が18.8%（3社）、+30%程度が25.0%（4社）であった。

従業員数別では、21～50名が、+10%未満が31.2%（5社）、+20%程度が6.3%（1社）、+30%程度が18.8%（3社）であった。

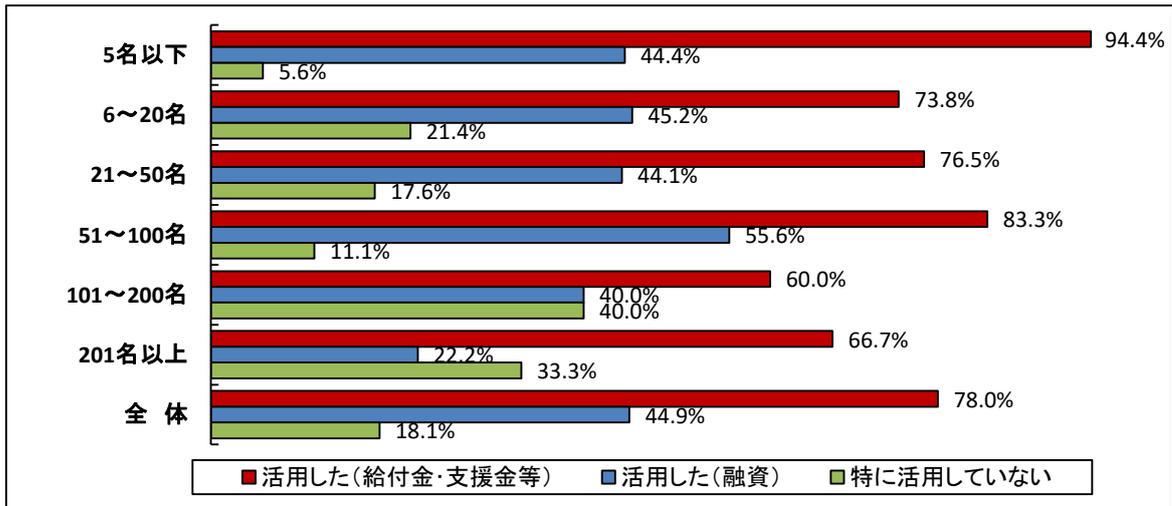
## 支援策の活用状況について

【設問6】国や自治体などによる各種支援策の活用状況（申請中・申請予定含む）について  
（複数回答可）（n=127）

業種	活用した （給付金・支援金等）	活用した （融資）	特に活用し ていない
鉄工・機械	76.2%	61.9%	9.5%
繊維	100.0%	88.9%	
その他製造	75.0%	43.8%	18.8%
建設業	83.3%	26.7%	16.7%
小売業	83.3%	16.7%	16.7%
卸売業	77.8%	55.6%	22.2%
運輸	100.0%	80.0%	
飲食業・宿泊	100.0%	57.1%	
その他サービス業	54.2%	29.2%	41.7%
全体	78.0%	44.9%	18.1%



従業員数	活用した (給付金・支援金等)	活用した (融資)	特に活用し ていない
5名以下	94.4%	44.4%	5.6%
6～20名	73.8%	45.2%	21.4%
21～50名	76.5%	44.1%	17.6%
51～100名	83.3%	55.6%	11.1%
101～200名	60.0%	40.0%	40.0%
201名以上	66.7%	22.2%	33.3%
全体	78.0%	44.9%	18.1%

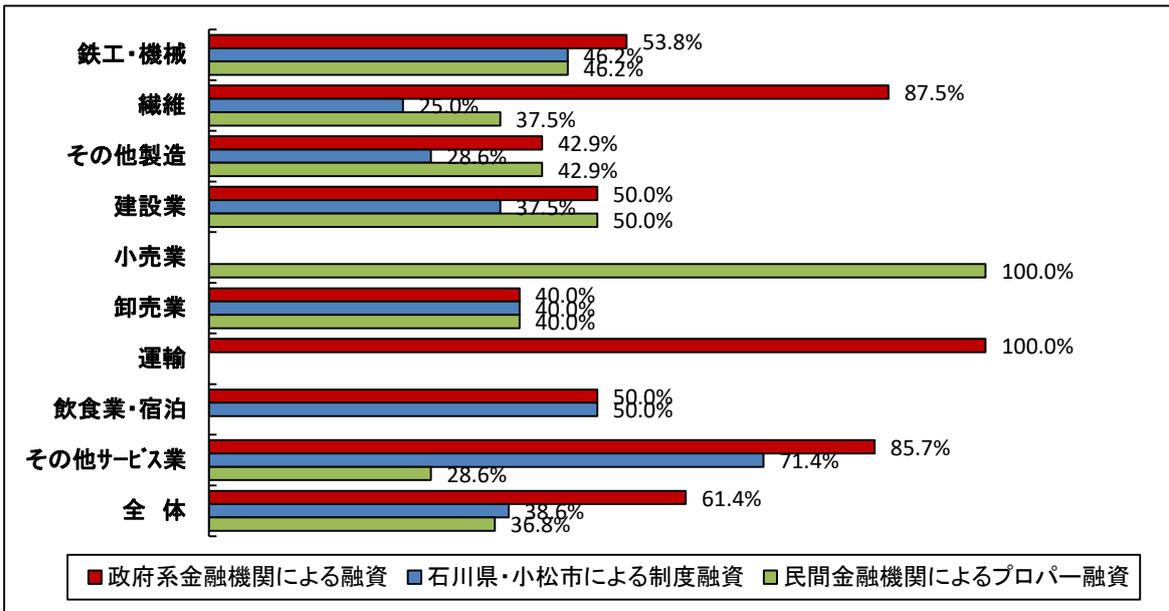


全体で、「給付金・支援金等を活用した」は、78.0%、「融資を活用した」は、44.9%あった。

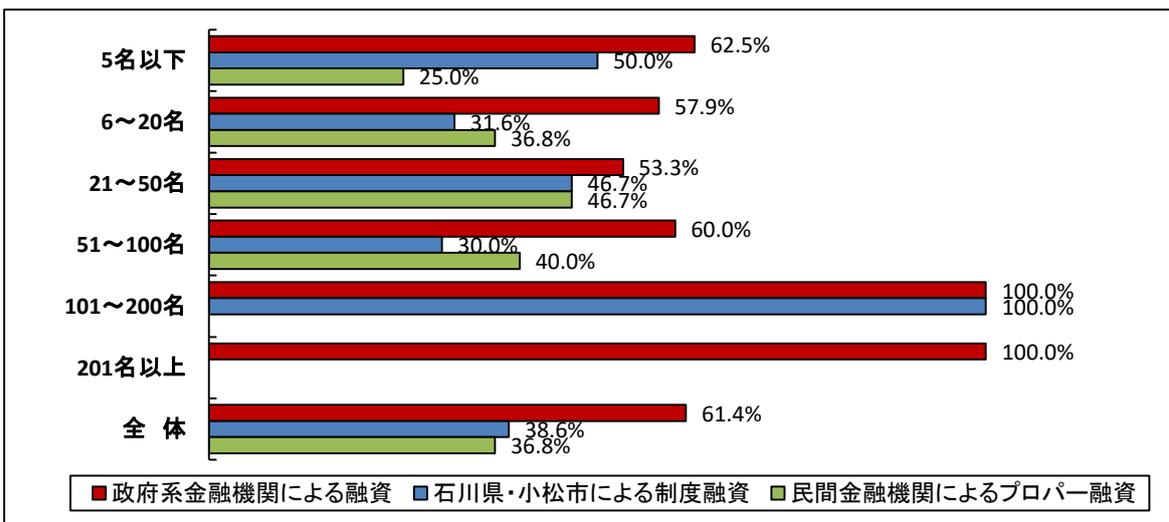
業種別においては、「給付金・支援金等を活用した」は、繊維、運輸、飲食業・宿泊が100%、建設業、小売業が83.3%、「融資を活用した」は、繊維が88.9%、運輸が80.0%あった。従業員数別においては、「給付金・支援金等を活用した」は、5名以下が94.4%、51～100名が83.3%、「融資を活用した」は、51～100名が55.6%、6～20名が45.2%あった。

**【設問7】融資を利用した際の資金調達先について(設問6で「選択肢1」を選択した方)  
(複数回答可) (n=57)**

業種	政府系金融機関 による融資	石川県・小松市に よる制度融資	民間金融機関に よるプロパー融資
鉄工・機械	53.8%	46.2%	46.2%
繊維	87.5%	25.0%	37.5%
その他製造	42.9%	28.6%	42.9%
建設業	50.0%	37.5%	50.0%
小売業			100.0%
卸売業	40.0%	40.0%	40.0%
運輸	100.0%		
飲食業・宿泊	50.0%	50.0%	
その他サービス業	85.7%	71.4%	28.6%
全体	61.4%	38.6%	36.8%



従業員数	政府系金融機関による融資	石川県・小松市による制度融資	民間金融機関によるプロパー融資
5名以下	62.5%	50.0%	25.0%
6～20名	57.9%	31.6%	36.8%
21～50名	53.3%	46.7%	46.7%
51～100名	60.0%	30.0%	40.0%
101～200名	100.0%	100.0%	
201名以上	100.0%		
全体	61.4%	38.6%	36.8%



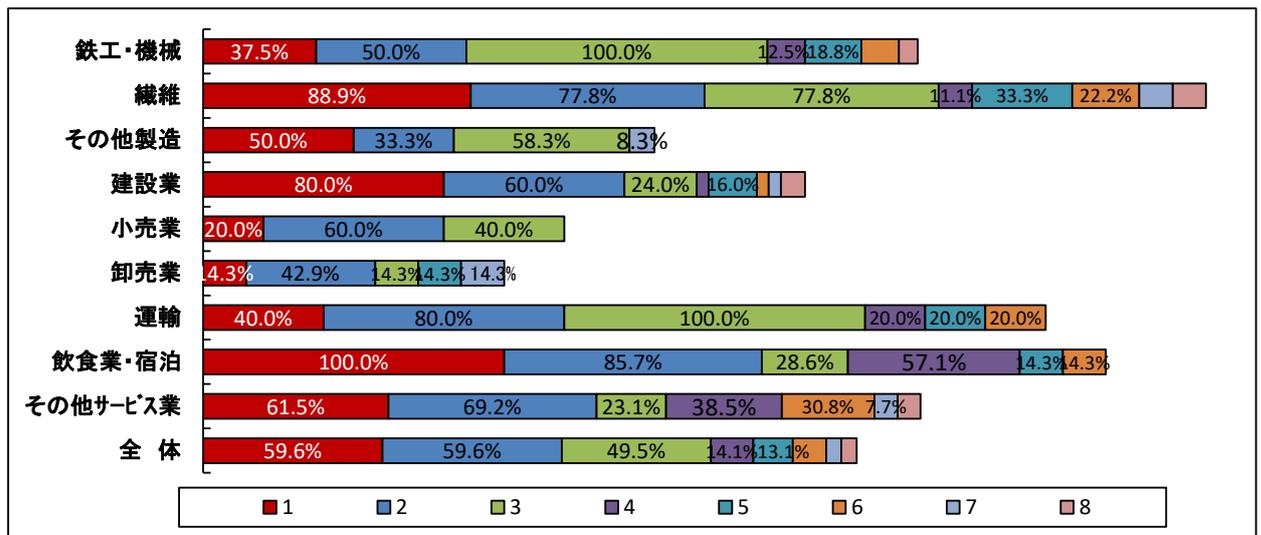
融資を活用した企業のうち、政府系金融機関による融資を利用した企業は、61.4%、石川県・小松市による制度融資を利用した企業は、38.6%、民間金融機関によるプロパー融資を利用した企業は、36.8%あった。2カ所以上の融資を活用している企業が18社あった。

【設問8】 国や自治体による給付金等の活用状況(申請中・申請予定含む)について  
 (設問6で「選択肢2」を選択した方) (複数回答可) (n=99)

1	売上減少に伴う給付金・支援金	59社	59.6%	
2	コロナ感染拡大防止対策のための補助金	59社	59.6%	
3	雇用維持に対する助成金・支援金	49社	49.5%	
4	家賃補填のための給付金・支援金	14社	14.1%	
5	業務効率化、生産性向上のための補助金	13社	13.1%	
6	新商品・新サービス開発など新たな取組に対する補助金	11社	11.1%	
7	販売促進のための補助金	5社	5.1%	
8	テレワーク導入に伴う給付金・支援金	5社	5.1%	
9	その他	0社	0.0%	

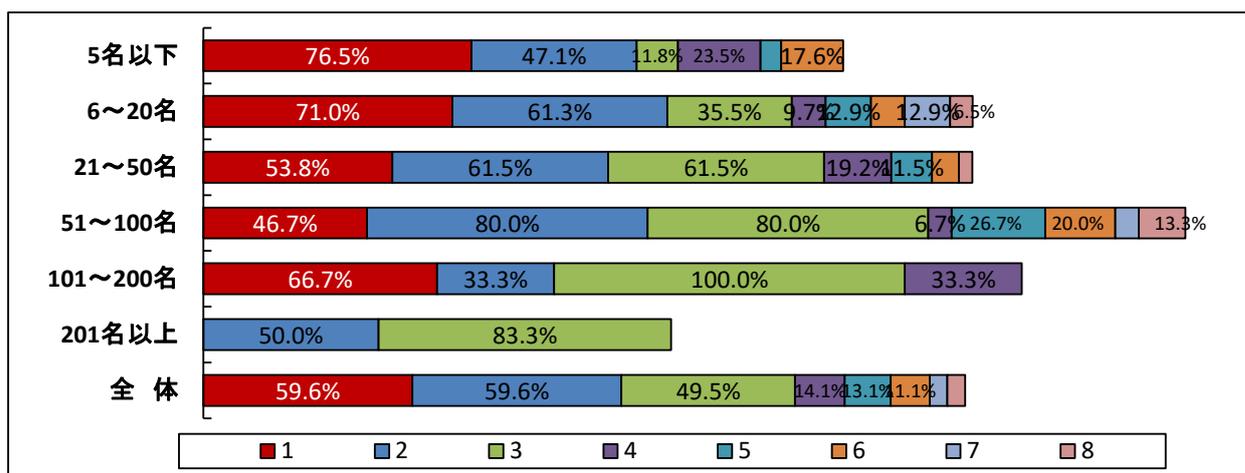
【業種別】

業種	1	2	3	4	5	6	7	8	9
鉄工・機械	37.5%	50.0%	100.0%	12.5%	18.8%	12.5%		6.3%	
繊維	88.9%	77.8%	77.8%	11.1%	33.3%	22.2%	11.1%	11.1%	
その他製造	50.0%	33.3%	58.3%				8.3%		
建設業	80.0%	60.0%	24.0%	4.0%	16.0%	4.0%	4.0%	8.0%	
小売業	20.0%	60.0%	40.0%						
卸売業	14.3%	42.9%	14.3%		14.3%		14.3%		
運輸	40.0%	80.0%	100.0%	20.0%	20.0%	20.0%			
飲食業・宿泊	100.0%	85.7%	28.6%	57.1%	14.3%	14.3%			
その他サービス業	61.5%	69.2%	23.1%	38.5%		30.8%	7.7%	7.7%	
全体	59.6%	59.6%	49.5%	14.1%	13.1%	11.1%	5.1%	5.1%	0.0%



【従業員数別】

従業員数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5名以下	76.5%	47.1%	11.8%	23.5%	5.9%	17.6%			
6～20名	71.0%	61.3%	35.5%	9.7%	12.9%	9.7%	12.9%	6.5%	
21～50名	53.8%	61.5%	61.5%	19.2%	11.5%	7.7%		3.8%	
51～100名	46.7%	80.0%	80.0%	6.7%	26.7%	20.0%	6.7%	13.3%	
101～200名	66.7%	33.3%	100.0%	33.3%					
201名以上		50.0%	83.3%						
全体	59.6%	59.6%	49.5%	14.1%	13.1%	11.1%	5.1%	5.1%	0.0%



国や自治体による給付金等の活用で、「売上減少に伴う給付金・支援金」「コロナ感染拡大防止対策のための補助金」それぞれ 59.6%と最も高く、次に「雇用維持に対する助成金・支援金」49.5%が続く。

業種別に、繊維、次に飲食業・宿泊が、従業員別に、51～100名規模の企業が様々な給付金等の活用を合わせた割合が高かった。

コロナ終息後に向けた新たな事業や取組予定と今後の見通しについて

【設問9】コロナ終息後に向け行っている新たな事業や、今後予定している取組みについて  
(複数回答有り) (n=125)

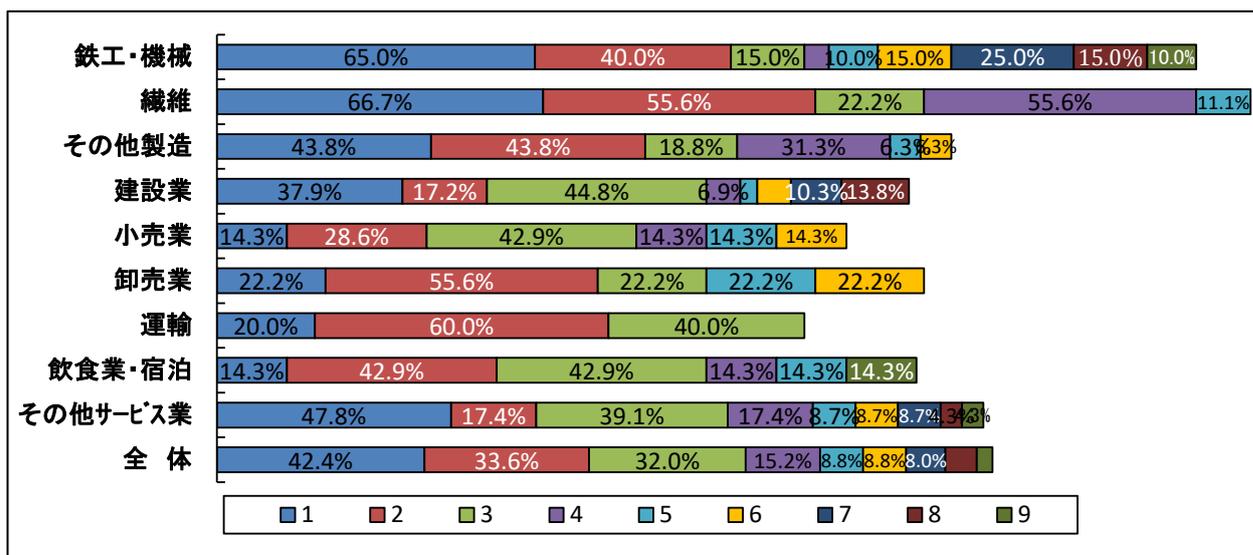
番号	事業内容	社数	割合
1	業務見直しによる効率化	53社	42.4%
2	新たな販路開拓	42社	33.6%
3	特に予定はない	40社	32.0%
4	新商品・サービスの開発・販売	19社	15.2%
5	ネットを通じた自社商品の販売	11社	8.8%
6	インターネットによる商談会・展示会への参加	11社	8.8%
7	AIツールの導入	10社	8.0%
8	動画等を活用した事業の展開	8社	6.4%
9	その他	4社	3.2%

※その他

小松法人会によるビジネスマッチング、オンラインセミナー開催（その他サービス業）
新たな価値創造（鉄工・機械）
出前(折詰)（飲食業・宿泊）

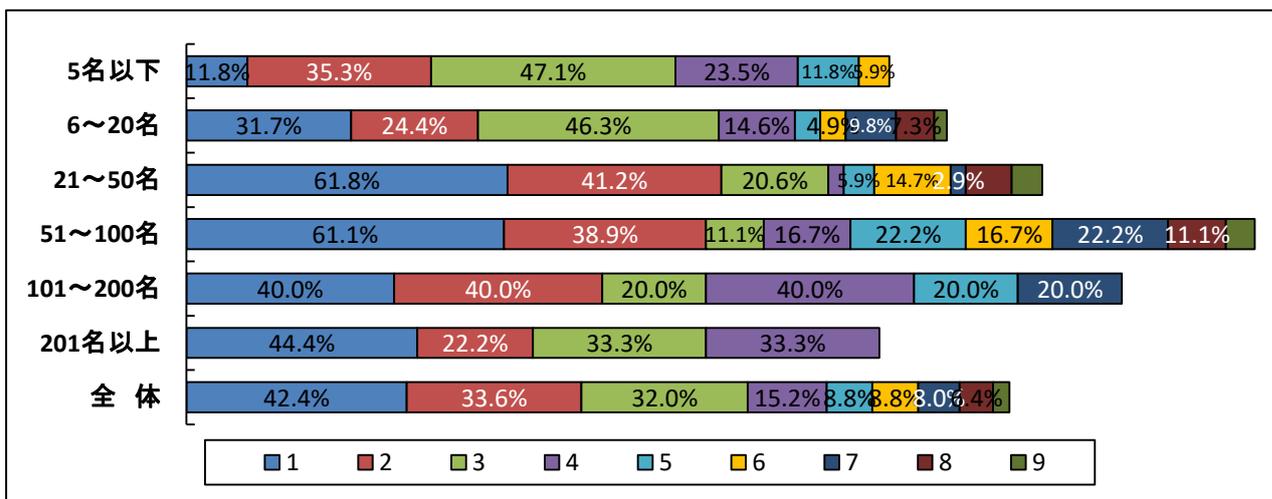
【業種別】

業種	1	2	3	4	5	6	7	8	9
鉄工・機械	65.0%	40.0%	15.0%	5.0%	10.0%	15.0%	25.0%	15.0%	10.0%
繊維	66.7%	55.6%	22.2%	55.6%	11.1%				
その他製造	43.8%	43.8%	18.8%	31.3%	6.3%	6.3%			
建設業	37.9%	17.2%	44.8%	6.9%	3.4%	6.9%	10.3%	13.8%	
小売業	14.3%	28.6%	42.9%	14.3%	14.3%	14.3%			
卸売業	22.2%	55.6%	22.2%		22.2%	22.2%			
運輸	20.0%	60.0%	40.0%						
飲食業・宿泊	14.3%	42.9%	42.9%	14.3%	14.3%				14.3%
その他サービス業	47.8%	17.4%	39.1%	17.4%	8.7%	8.7%	8.7%	4.3%	4.3%
全体	42.4%	33.6%	32.0%	15.2%	8.8%	8.8%	8.0%	6.4%	3.2%



【従業員数別】

従業員数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5名以下	11.8%	35.3%	47.1%	23.5%	11.8%	5.9%			
6～20名	31.7%	24.4%	46.3%	14.6%	4.9%	4.9%	9.8%	7.3%	2.4%
21～50名	61.8%	41.2%	20.6%	2.9%	5.9%	14.7%	2.9%	8.8%	5.9%
51～100名	61.1%	38.9%	11.1%	16.7%	22.2%	16.7%	22.2%	11.1%	5.6%
101～200名	40.0%	40.0%	20.0%	40.0%	20.0%		20.0%		
201名以上	44.4%	22.2%	33.3%	33.3%					
全体	42.4%	33.6%	32.0%	15.2%	8.8%	8.8%	8.0%	6.4%	3.2%

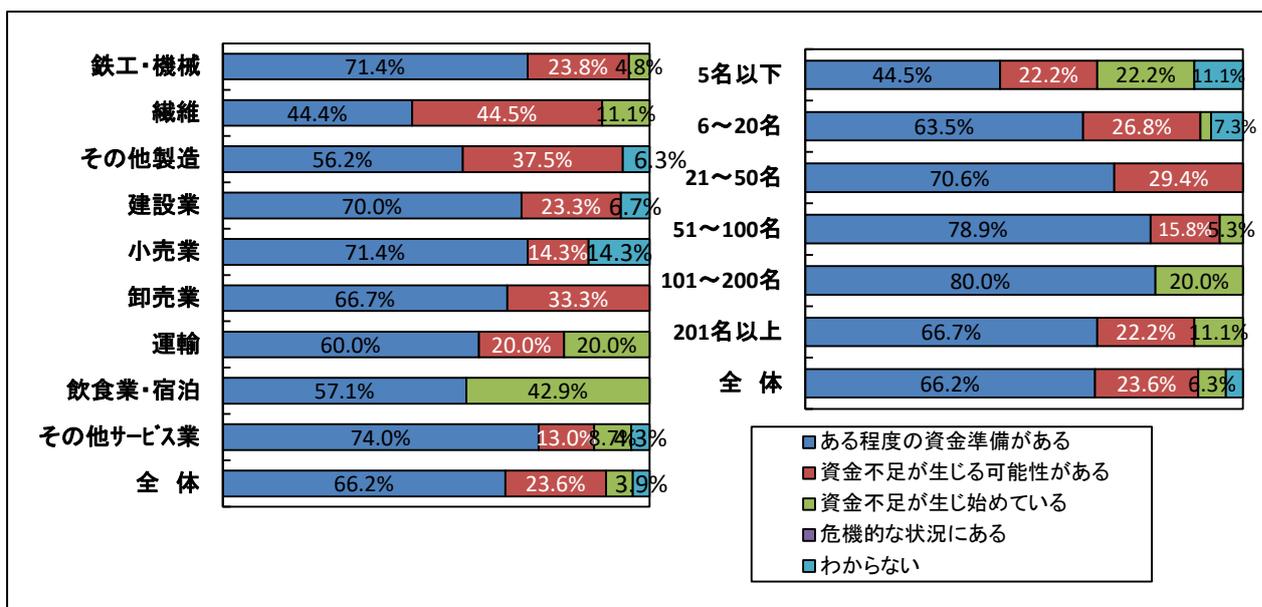


コロナ終息後に向け行っている新たな事業や、今後予定している取組みとして、割合の高い順に、「業務見直しによる効率化」42.4%、「新たな販路開拓」33.6%、「特に予定はない」32.0%と続く。「新商品・サービスの開発・販売」では、業種別において、繊維 55.6%、その他製造 31.3%が高い割合であった。

【設問 10】現在の運転資金の状況について (n=127)

業種	ある程度の資金準備がある	資金不足が生じる可能性がある	資金不足が生じている	危機的な状況にある	わからない
鉄工・機械	71.4%	23.8%	4.8%		
繊維	44.4%	44.5%	11.1%		
その他製造	56.2%	37.5%			6.3%
建設業	70.0%	23.3%			6.7%
小売業	71.4%	14.3%			14.3%
卸売業	66.7%	33.3%			
運輸	60.0%	20.0%	20.0%		
飲食業・宿泊	57.1%		42.9%		
その他サービス業	74.0%	13.0%	8.7%		4.3%
全体	66.2%	23.6%	6.3%		3.9%

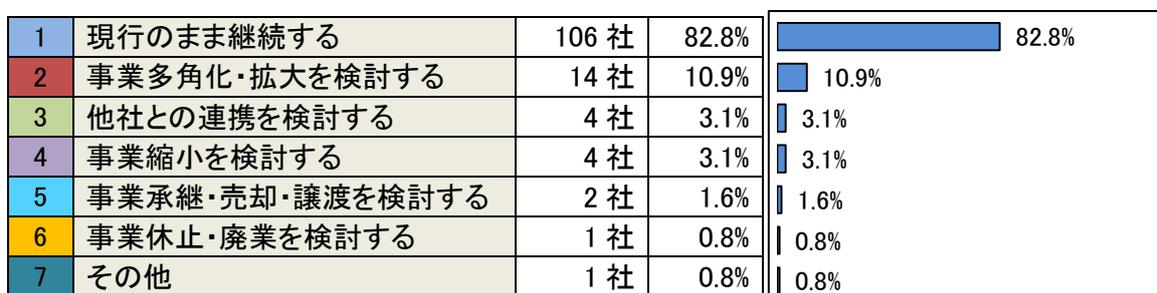
従業員数	ある程度の資金準備がある	資金不足が生じる可能性がある	資金不足が生じている	危機的な状況にある	わからない
5名以下	44.5%	22.2%	22.2%		11.1%
6～20名	63.5%	26.8%	2.4%		7.3%
21～50名	70.6%	29.4%			
51～100名	78.9%	15.8%	5.3%		
101～200名	80.0%		20.0%		
201名以上	66.7%	22.2%	11.1%		
全体	66.2%	23.6%	6.3%		3.9%



現在の運転資金の状況は、「ある程度の資金準備がある」66.2%、「資金不足が生じる可能性がある」23.6%、「資金不足が生じ始めている」6.3%となった。

業種別において、飲食業・宿泊の「資金不足が生じ始めている」が、42.9%と高い割合となった。長いコロナ禍で、持ち堪える余力がなくなっているのが伺える。

#### 【設問 11】現時点における今後の事業継続について（複数回答有り）（n=128）

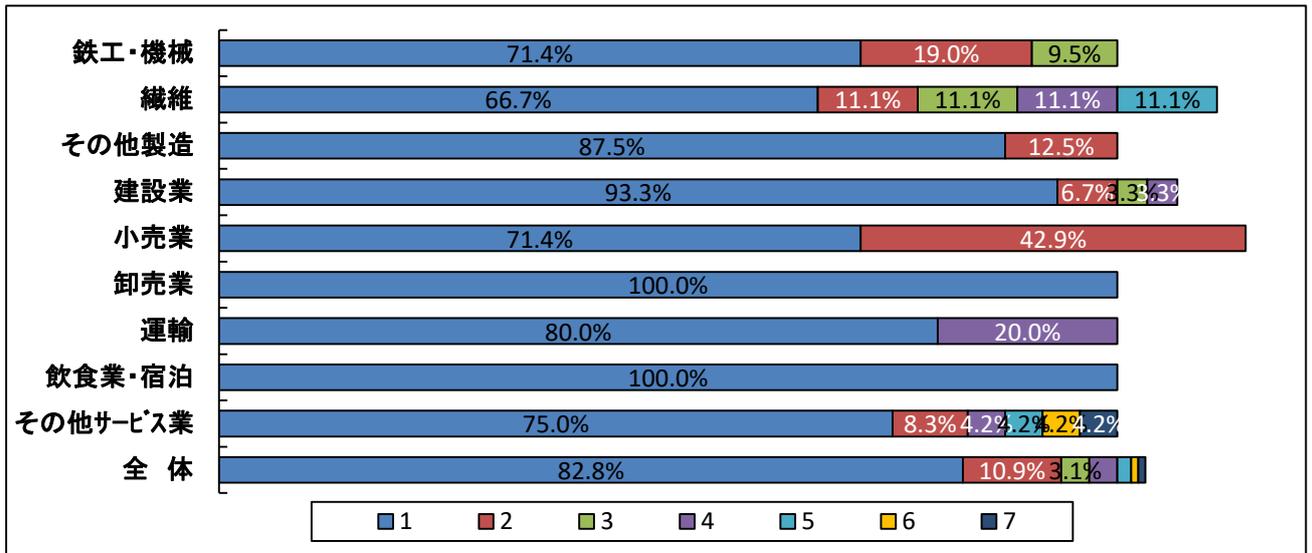


※その他

資格による稼業なので一代限り（その他サービス業）

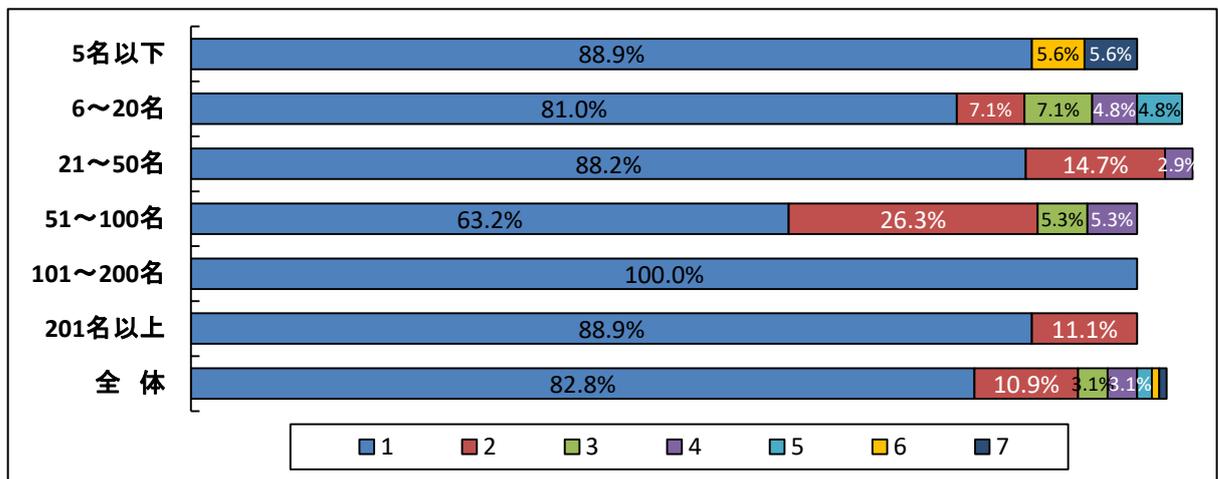
#### 【業種別】

業種	1	2	3	4	5	6	7
鉄工・機械	71.4%	19.0%	9.5%				
繊維	66.7%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%		
その他製造	87.5%	12.5%					
建設業	93.3%	6.7%	3.3%	3.3%			
小売業	71.4%	42.9%					
卸売業	100.0%						
運輸	80.0%			20.0%			
飲食業・宿泊	100.0%						
その他サービス業	75.0%	8.3%		4.2%	4.2%	4.2%	4.2%
全体	82.8%	10.9%	3.1%	3.1%	1.6%	0.8%	0.8%



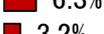
【従業員数別】

従業員数	1	2	3	4	5	6	7
5名以下	88.9%					5.6%	5.6%
6～20名	81.0%	7.1%	7.1%	4.8%	4.8%		
21～50名	88.2%	14.7%		2.9%			
51～100名	63.2%	26.3%	5.3%	5.3%			
101～200名	100.0%						
201名以上	88.9%	11.1%					
全体	82.8%	10.9%	3.1%	3.1%	1.6%	0.8%	0.8%



現時点における今後の事業継続について、「現行のまま継続する」が 82.8%と高く、続いて「事業多角化・拡大を検討する」が 10.9%あった。  
業種別において、小売業の「事業多角化・拡大を検討する」が、42.9%もあった。  
従業員数別において、規模の小さい企業の方が、事業の連携や縮小を検討している傾向にあるようだ。

【設問 12】今後の事業継続のために、最優先する要素について（複数回答有り）（n=126）

1	売上の維持拡大	71 社	56.3%		56.3%
2	人材の確保・育成	47 社	37.3%		37.3%
3	経費削減	25 社	19.8%		19.8%
4	資金調達	8 社	6.3%		6.3%
5	その他	4 社	3.2%		3.2%

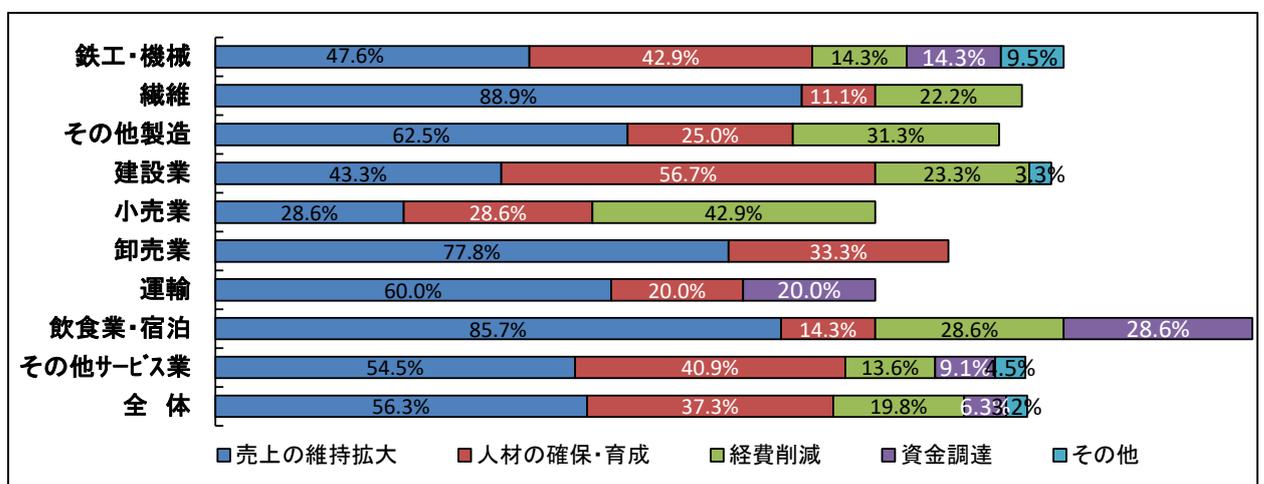
※その他

人財の確保・育成（鉄工・機械）
生産の効率アップ（鉄工・機械）
協力企業の育成（建設業）
原点回帰（その他サービス業）

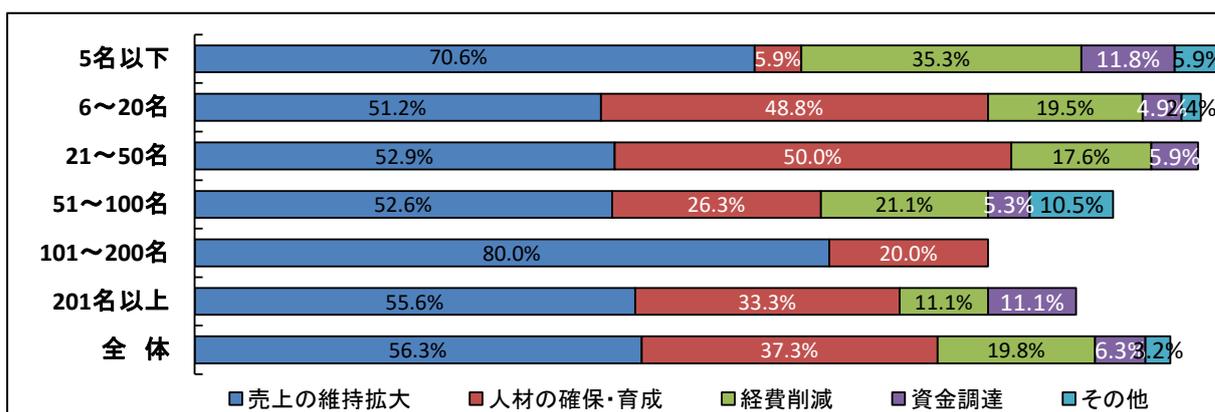
今後の事業継続のために、最優先する要素として、高い順に、「売上の維持拡大」56.3%、「人材の確保・育成」37.3%、「経費削減」19.8%と続く。最優先事項が数多あり、一つに絞り切れない企業も23社あった。

業種別において、「資金調達」を上げた企業は、飲食業・宿泊28.6%、運輸20.0%、鉄工・機械14.3%あった。

業種	売上の維持拡大	人材の確保・育成	経費削減	資金調達	その他
鉄工・機械	47.6%	42.9%	14.3%	14.3%	9.5%
繊維	88.9%	11.1%	22.2%		
その他製造	62.5%	25.0%	31.3%		
建設業	43.3%	56.7%	23.3%		3.3%
小売業	28.6%	28.6%	42.9%		
卸売業	77.8%	33.3%			
運輸	60.0%	20.0%		20.0%	
飲食業・宿泊	85.7%	14.3%	28.6%	28.6%	
その他サービス業	54.5%	40.9%	13.6%	9.1%	4.5%
全体	56.3%	37.3%	19.8%	6.3%	3.2%



従業員数	売上の維持拡大	人材の確保・育成	経費削減	資金調達	その他
5名以下	70.6%	5.9%	35.3%	11.8%	5.9%
6～20名	51.2%	48.8%	19.5%	4.9%	2.4%
21～50名	52.9%	50.0%	17.6%	5.9%	
51～100名	52.6%	26.3%	21.1%	5.3%	10.5%
101～200名	80.0%	20.0%			
201名以上	55.6%	33.3%	11.1%	11.1%	
全体	56.3%	37.3%	19.8%	6.3%	3.2%



【設問 13】今後必要な行政の支援策について(複数回答可) (n=119)

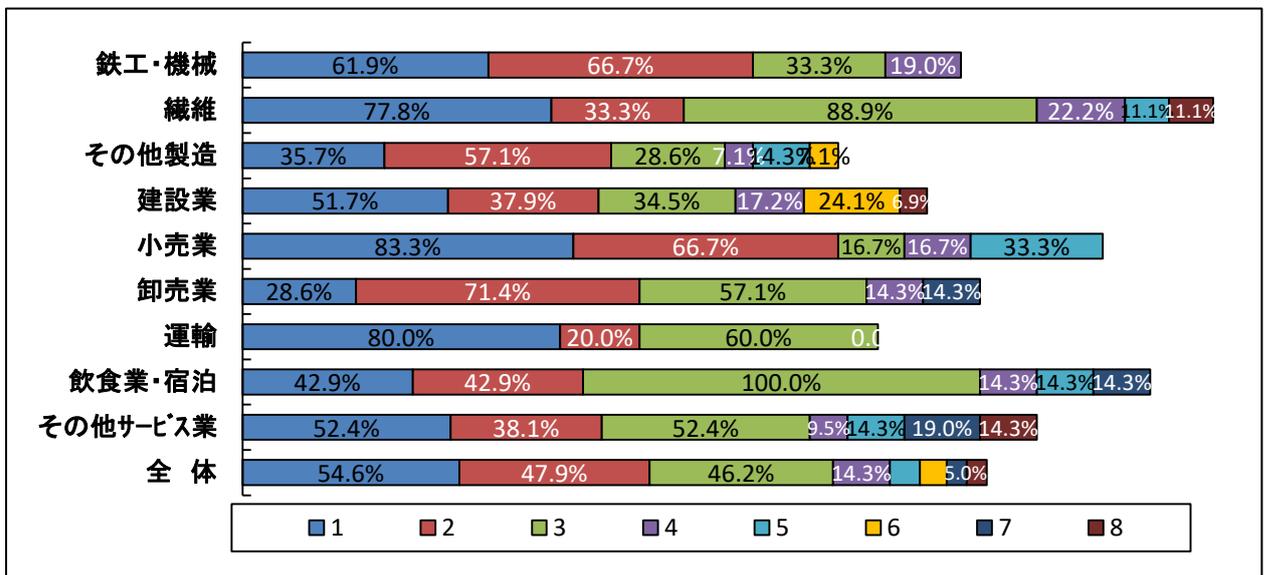
1	税金の減免	65社	54.6%	54.6%
2	売上回復等を目的とした設備投資への補助金	57社	47.9%	47.9%
3	売上減少に対する追加の給付金・支援金	55社	46.2%	46.2%
4	業務形態の変更にかかる経費への補助金	17社	14.3%	14.3%
5	通販サイト開設経費への補助金	9社	7.6%	7.6%
6	テレワーク導入費用への補助金	8社	6.7%	6.7%
7	家賃に対する追加の給付金	6社	5.0%	5.0%
8	その他	6社	5.0%	5.0%

※その他

経済活動の再開（繊維）
非製造業・建設業への今後の支援(不況影響をあとから受けるため)（建設業）
雇用維持に対して助成（その他サービス）
介護報酬の引き上げ（その他サービス業）
特になし

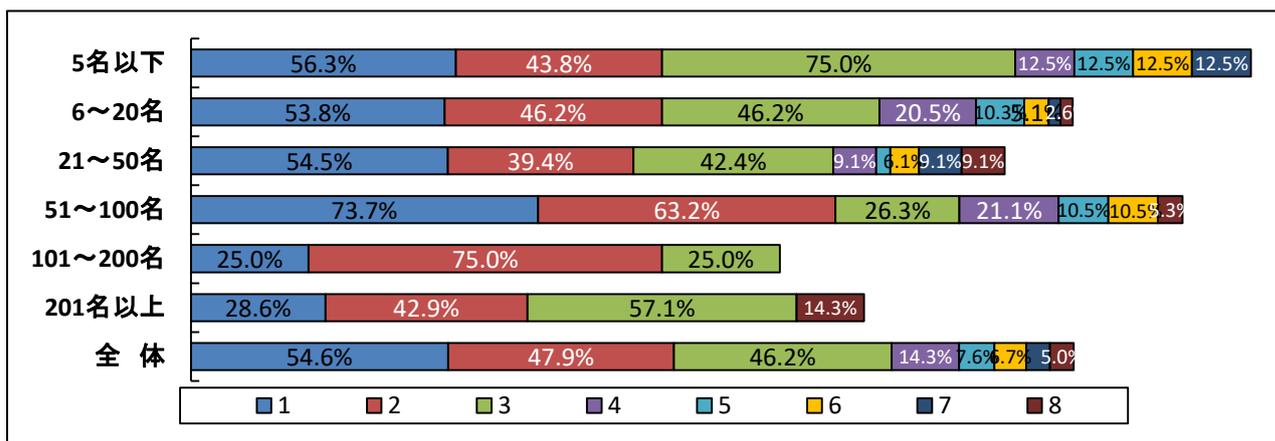
【業種別】

業種	1	2	3	4	5	6	7	8
鉄工・機械	61.9%	66.7%	33.3%	19.0%				
繊維	77.8%	33.3%	88.9%	22.2%	11.1%			11.1%
その他製造	35.7%	57.1%	28.6%	7.1%	14.3%	7.1%		
建設業	51.7%	37.9%	34.5%	17.2%		24.1%		6.9%
小売業	83.3%	66.7%	16.7%	16.7%	33.3%			
卸売業	28.6%	71.4%	57.1%	14.3%			14.3%	
運輸	80.0%	20.0%	60.0%					
飲食業・宿泊	42.9%	42.9%	100.0%	14.3%	14.3%		14.3%	
その他サービス業	52.4%	38.1%	52.4%	9.5%	14.3%		19.0%	14.3%
全体	54.6%	47.9%	46.2%	14.3%	7.6%	6.7%	5.0%	5.0%



【従業員数別】

従業員数	1	2	3	4	5	6	7	8
5名以下	56.3%	43.8%	75.0%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	
6～20名	53.8%	46.2%	46.2%	20.5%	10.3%	5.1%	2.6%	2.6%
21～50名	54.5%	39.4%	42.4%	9.1%	3.0%	6.1%	9.1%	9.1%
51～100名	73.7%	63.2%	26.3%	21.1%	10.5%	10.5%		5.3%
101～200名	25.0%	75.0%	25.0%					
201名以上	28.6%	42.9%	57.1%					14.3%
全体	54.6%	47.9%	46.2%	14.3%	7.6%	6.7%	5.0%	5.0%



今後必要な行政の支援策について、高い順に「税金の減免」54.6%、「売上回復等を目的とした設備投資への補助金」47.9%、「売上減少に対する追加の給付金・支援金」46.2%と続く。

業種別においては、「税金の減免」が小売業 83.3%、運輸 80.0%、繊維 77.8%、「売上回復等を目的とした設備投資への補助金」が、卸売業 71.4%、機械・鉄工、小売業 66.7%、「売上減少に対する追加の給付金・支援金」が、飲食業・宿泊 100%、繊維 88.9%、運輸 60.0%と高かった。

従業員数別においては、「税金の減免」51～100名 73.7%、5名以下 56.3%、「売上回復等を目的とした設備投資への補助金」101～200名 75.0%、51～100名 63.2%「売上減少に対する追加の給付金・支援金」が、5名以下 75.0%、201名以上 57.1%と高かった。

## ■ その他、意見・要望

景気を回復させるには、一時的に消費税を減らせばよい（鉄工・機械）
給付金や支援金・補助金は延命措置。その後どうするのが、全く決まっていない。バブル後と同じにならないように（鉄工・機械）
新型コロナウイルスは先日の商工会議所の講演会の森下先生の言う通り、正しく恐れるべき。政府がもっと経済活動を回すことを主導すべきである。（何でも事なかれ主義になっていて、これでは何も好転しない）（繊維）
今必要な事にアンテナを張って、今の仕事にとられる事無く柔軟に対応（建設業）
新業態への情報、M&Aの情報等（小売業）
雇用調整助成金は売上減少率や受給条件が緩やかで甘すぎるのではないか？自助努力が企業に生まれない（卸売業）
行政機関からの不要不急の呼び出しはやめて欲しい（その他サービス業）

## 議員・評議員各位

### 「小松商工会議所景気見通し調査」

### 「緊急！新型コロナウイルスによる影響調査」実施のお願い

新型コロナウイルス感染症の拡大により経営に影響を受けている皆さま方におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

本所では、議員・評議員を対象に、四半期毎に行っている景気見通し調査並びに新型コロナウイルス感染拡大による企業活動への影響調査を実施いたします。

ご多忙の折誠に恐縮とは存じますが、下記調査にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※前回までの調査結果は本所HPに掲載しています。

貴社名 \_\_\_\_\_ (個別企業名・個人名が公表されることはありません)

貴社の業種は 1. 鉄工・機械 2. 繊維 3. その他製造 4. 建設業 5. 運輸  
6. 小売業 7. 卸売業 8. 飲食業・宿泊 9. その他サービス業

従業員数は 1. 5名以下 2. 6～20名 3. 21～50名 4. 51～100名  
5. 101名～200名 6. 201名以上

※本調査における「前期」、「今期」、「来期」は以下の期間を指しますので、ご注意ください。

### 景況・業況の動向

○前期＝令和2年度第2四半期(令和2年7月～9月)

○今期＝令和2年度第3四半期(令和2年10月～12月、但し12月は見込み)

○来期＝令和2年度第4四半期(令和3年1月～3月)

	I. 今期(第3四半期)の状況	II. 来期(第4四半期)の見通し
	前期(第2四半期)と比べた 今期(第3四半期)の状況	今期(第3四半期)と比べた 来期(第4四半期)の見通し
1. 景況感	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
2. 売上高	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
3. 売上単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
4. 資金繰り	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
5. 採算性(経常利益)	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化

景況感(今期)の選定理由をご記入下さい。

景況感(来期)の選定理由をご記入下さい。

### 今期(第3四半期) 直面している経営上の問題点(複数回答可)

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 0. 新型コロナウイルスによる売上減少 | 1. 大企業の進出や過当競争による競争の激化 |
| 2. 仕入単価の上昇          | 3. 経費の増加               |
| 4. 販売単価の低下・上昇難      | 5. エネルギーコストの増加         |
| 6. 原材料の高騰           | 7. 需要の停滞、売上の減少         |
| 8. 従業員の確保難          | 9. 後継者の育成・確保           |
| 10. その他( )          |                        |

問題点や対応策を具体的にご記入下さい。

--

## 新型コロナウイルスによる売上減少について

【設問1】前年同月と比べた令和2年11月の貴社の売上高についてお聞かせください。

1. 減少(20%以上)                      2. 減少(20%未満)                      3. 横ばい                      4. 増加

【設問2】前年同月と比べた令和2年10月～12月の貴社の売上高(見込み)についてお聞かせください。

1. 減少(20%以上)                      2. 減少(20%未満)                      3. 横ばい                      4. 増加

【設問3】令和2年1月29日以降、令和3年3月までに見込まれる減少額とその内容についてお聞かせください。

1. 50万円未満                      2. 50万円～100万円未満                      3. 100万円～500万円未満  
4. 500万円～1,000万円未満                      5. 1,000万円～2,000万円未満                      6. 2,000万円～5,000万円未満  
7. 5,000万円～1億円未満                      8. 1億円以上

【具体的に内容をお書きください】

【設問4】今後の経営の見通し(自社売上の回復)についてお聞かせください。

1. 2021年前期                      2. 2021年後期                      3. 2022年前期                      4. 2022年後期                      5. 2023年以降  
6. 見通しがつかない                      7. コロナ前には戻らない

【設問5】(設問2で「選択肢4」を選択した方にお伺いします)売上の増加幅についてお聞かせください。

1. +10%未満                      2. +20%程度                      3. +30%程度                      4. +40%程度                      5. +50%以上

## 支援策の活用状況について

【設問6】国や自治体などによる各種支援策の活用状況(申請中・申請予定含む)についてお聞かせください。

1. 活用した(融資)                      2. 活用した(給付金・支援金等)                      3. 特に活用していない                      (複数回答可)

【設問7】(設問6で「選択肢1」を選択した方にお伺いします)

融資を利用した際の資金調達先についてお聞かせください。(複数回答可)

1. 政府系金融機関による融資                      2. 石川県・小松市による制度融資  
3. 民間金融機関によるプロパー融資                      4. その他( )

【設問8】(設問6で「選択肢2」を選択した方にお伺いします)

国や自治体による給付金等の活用状況(申請中・申請予定含む)についてお聞かせください。(複数回答可)

1. 売上減少に伴う給付金・支援金                      2. 雇用維持に対する助成金・支援金  
3. 家賃補填のための給付金・支援金                      4. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための補助金  
5. 業務効率化、生産性向上のための補助金                      6. 新商品・新サービス開発など新たな取組に対する補助金  
7. 販売促進のための補助金                      8. テレワーク導入に伴う給付金・支援金  
9. その他( )

## コロナ終息後に向けた新たな事業や取組予定と今後の見通しについて

新型コロナウイルス感染拡大の影響により先行き不透明な経営環境の中、コロナ終息後に向けた新たな事業や取組み予定、今後の見通しについてお聞かせください。

### 【設問9】コロナ終息後に向け行っている新たな事業や、今後予定している取組みについてお聞かせください。

- |                   |                            |
|-------------------|----------------------------|
| 1. 新たな販路開拓        | 2. 新商品・サービスの開発・販売          |
| 3. ネットを通じた自社商品の販売 | 4. インターネットを利用した商談会・展示会への参加 |
| 5. 動画等を活用した事業の展開  | 6. AIツールの導入                |
| 7. 業務見直しによる効率化    | 8. 特に予定はない                 |
| 9. その他( )         |                            |

### 【設問10】現在の運転資金の状況についてお聞かせください。

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. ある程度の資金準備がある | 2. 資金不足が生じる可能性がある |
| 3. 資金不足が生じ始めている | 4. 危機的な状況にある      |
| 5. わからない        |                   |

### 【設問11】現時点における今後の事業継続についてお聞かせください。

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. 現行のまま継続する       | 2. 事業多角化・拡大を検討する |
| 3. 他社との連携を検討する     | 4. 事業縮小を検討する     |
| 5. 事業承継・売却・譲渡を検討する | 6. 事業休止・廃業を検討する  |
| 7. その他( )          |                  |

### 【設問12】今後の事業継続のために、最優先する要素についてお聞かせください。

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 売上の維持拡大 | 2. 人材の確保・育成 |
| 3. 資金調達    | 4. 経費削減     |
| 5. その他( )  |             |

### 【設問13】今後必要な行政の支援策についてお聞かせください。(複数回答可)

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 売上減少に対する追加の給付金・支援金 | 2. 売上回復等を目的とした設備投資への補助金 |
| 3. 業務形態の変更にかかる経費への補助金 | 4. 通販サイト開設経費への補助金       |
| 5. 家賃に対する追加の給付金       | 6. 税金の減免                |
| 7. テレワーク導入費用への補助金     | 8. その他( )               |

その他、ご意見やご要望がありましたら、具体的にご記入下さい。

**回答締切: 12月21日(月)必着 (FAX: 21-3120 までご返信ください)**